

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	コベルプラス相模原星が丘教室		
○保護者評価実施期間	2025年11月1日		2025年11月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	50	(回答者数) 36
○従業者評価実施期間	2025年11月1日		2025年11月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年11月28日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別レッスン	個々の発達状況に応じた取り組みを行い、得意な点や苦手な点を丁寧に把握しながら支援している。保護者との会話から日常の様子を共有いただき、レッスン内容に反映することで、より効果的な支援につなげている。また、多彩な教材を活用し、子どもの興味や理解に合わせた学びを提供している。	・教材の選択肢を広げ、興味の違いや発達段階に合わせたアプローチをさらに充実させる。 ・職員間で事例共有を行い、より的確な支援方法を検討できる体制を整える。
2	小集団レッスン	最大6名の小集団で机上課題を中心に取り組み、友だちとの関わりや譲り合いの経験を積む環境を整えている。粗大運動では集団指示の理解や模倣、順番を守るなど、集団で必要となる力を育てている。個々のペースを尊重しつつ、集団ならではの成長の機会を提供している。	・机上課題や粗大運動のバリエーションを増やし、子ども同士のやりとりが生まれやすい活動を取り入れる。
3	保護者通所型	毎回のレッスンを見ていただくことで、成長やつまづきに気づきやすく、家庭での関わりにもつなげやすい支援体制を整えている。その場で相談ができるため、取り入れてほしい支援や伝えたい情報をすぐに共有でき、保護者とともに子どもの成長を支えている。	・家庭と同じ方向性で支援できるよう、目標や取り組みの共有をこまめに行い、連携を強化する。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同席が前提のため、家庭の状況によっては負担になることがある。	仕事やきょうだいの予定等、スケジュール調整が必要になるため負担が生じやすい。	同席できない場合でも家庭へ支援を還元できるしくみを検討する。
2	職員によってアプローチに差が見える場合がある。	教材が豊富で自由度が高いため、使い分けや共有が不十分なことがある。	定期的に事例共有を行い、教材の意図や使い方を統一する。
3			